

仙台印刷団地クラスター革新プロジェクト 2008

バーミンガムの都市再生

～カスタード工場地区を再開発を事例に～

田コウキ

バーミンガムの基本情報

- イギリス第2の都市、人口は100万人
- 多様な金属加工業を中心とする内陸型工業都市
- 工業都市の衰退から、産業構造の転換に成功し、近年ではサービス産業が発達
- 都市再生に成功した都市（「希望のないまち」から「希望のまち」）

図表1 バーミンガム都市の一角



歴史的背景

- 1970年代には国際競争に敗れ、工場の閉鎖やリストラの波が襲い、長期衰退傾向に陥った。
- 特に1978～1982年の不況は深刻で、失業者の増大と生活水準の低下が起こった。
- 官僚主導型の都市開発から、人間中心の都市再生戦略へと転換した。

都市再生に成功したバーミンガム——カスタード工場の再開発

- 人間中心の都心の再生
- 芸術とメディアの街
- 芸術と文化政策
- 産業遺産である運河の保存と修復による「運河めぐり」の開始など都心の再生に着手した。
- 都市再生の雰囲気や活気を感じさせる場所であるカスタード工場地区の再開発を行っている。

カスタード工場について

- 産業の黄金期に活躍したディッグベット地区にあるカスタード工場。元は菓子を製造していた。
- 現在の変貌——カスタード工場に芸術家達が集まり、芸術家間または芸術家と一般市民との間の交流によって創造的な空間が生まれる。

カスタード工場について

- 現在、約350人の芸術家が200スタジオにおいて活動しており、家賃は週に18ポンドで、バーミンガムの平均家賃と比べてかなり安い。
- カスタード工場には、スタジオ以外に、劇場、リハーサル・ルーム、ダンスホール、レストラン、喫茶店、商店といった施設があり、芸術系大学生のためのアパート、ジャズクラブ、映画館などの施設が整備。

図表2 カスタード工場の変貌



都市創造の特徴

- カスタード工場の再開発を通して、バーミンガムの産業遺産としての運河をめぐって、重工業全盛時代の雰囲気と文化の雰囲気を結びつけること。
- 芸術家または芸術家と一般市民の間の交流によって、創造的な空間が生まれる。

民間組織の役割

- NPO組織——スペースthe space organization (SPACEはthe society for the promotion of artistic and creative enterpriseの略) という民間組織はインナー・シティの再生を専門とする組織であり、小規模の芸術団体と個人芸術家に安価のワークスペース（スタジオ）を提供している。
- 1992年以降、2000万ポンド（約33億円）を投資、1ポンド＝約166円

行政支援の役割

- 運河の周辺地区の開発を支持し資金を投資する。
- バーミンガム市議会は芸術・文化産業の振興を目的とし、運河の再開発を、市民の生活の質を向上させるものと位置付けた。

都市創造化の成果

- 芸術や文化の収益は倍増
(1992年に行った調査によれば、1990年の芸術・文化産業の収益は、市当局が芸術・文化産業の振興のために使った金額の約6倍であった。)
- 雇用率の向上。
- 都市イメージを高める。
- 観光産業も発展する。

若者のために芸術の人材育成

- 若者が遊びながら新しい人と出会いコミュニケーションすることが社会的な「場」である。
- 「芸術とメディアの街」において若者が様々な芸術を学び、将来プロの芸術家として仕事をするチャンスが得られる「場」である。

示唆

- バーミンガム市議会や民間企業と非営利団体のパートナーシップのもとに再開発が行われた。
- カスタードのような創造空間の雰囲気が必要だ
と思う。